

## 血液培養実施時の 2 セット実施率

本指標は日本病院会における QI プロジェクトの指標を参考に、DPC 分析ソフト「ヒラソル」を用いて、下記の定義に基づき算出しております。「ヒラソル」にて他施設も同条件で算出することにより、一定程度の施設との比較をすることが可能となります。

### <指標の説明・定義>

抗菌薬治療時の血液培養検査は、感染症の原因特定のための必要な検査です。また、得られた結果に基づいて抗菌薬を選択することで、適切な治療につながります。血液培養は診断精度を高めるため、2セット以上行うことが推奨されています。

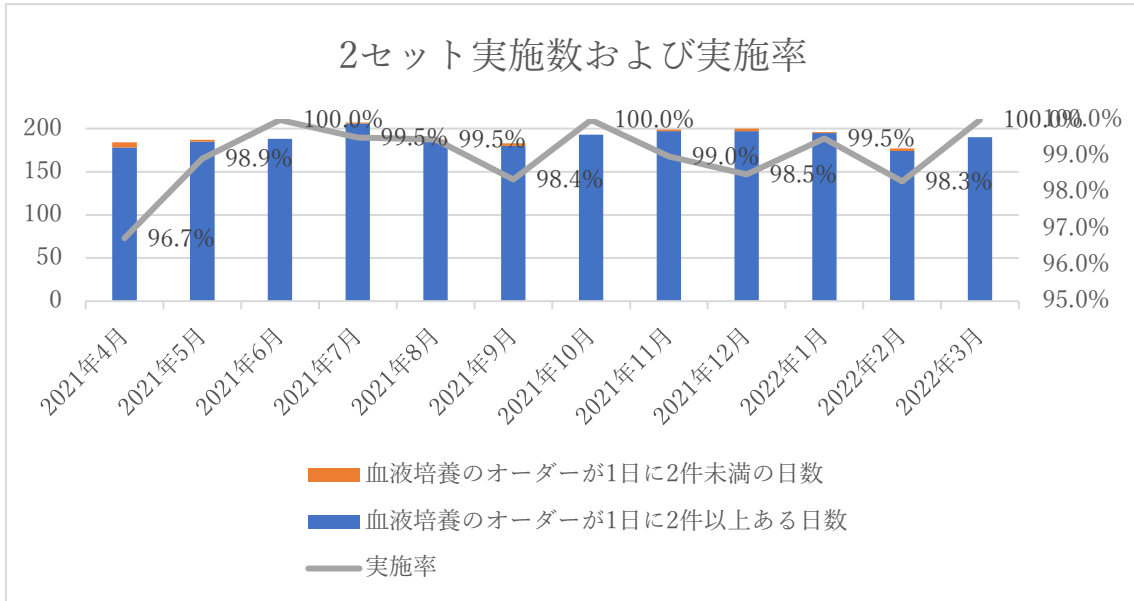
本指標は下記の定義に基づき算出しており、値が高いことで、治療の「プロセス」を評価できます。

■分子：血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数（人日）

■分母：血液培養のオーダー日数（人日）

- 収集期間：2021年4～6月分、2021年7～9月分、  
2021年10～12月分、2022年1～3月分
- 使用データ：F ファイル、EF ファイル

<2021年度 血液培養実施時の 2 セット実施数および実施率>



<2021年度 血液培養実施時の 2 セット実施率ベンチマーク (ヒラソル登録施設) >

